

都学歯広報

T O G A K U S H I + K O H O

125
2019.6

平成30年度
「歯・口の健康に関する図画・
ポスターコンクール」優秀作品
中学校の部 第1位

清瀬市立清瀬第二中学校3年
芥川瑠花さん

CONTENTS

- | | |
|---|---|
| ■ 会長挨拶 2
末高英世会長 | ■ 学校歯科医執務記録 9 |
| ■ 令和元・2年度 役員職務分掌 3 | ■ 地区ニュース 10
清瀬 |
| ■ 都学歯の未来展望 4～5
鈴木 博副会長／長沼善美副会長 | ■ トピックス 10～11
第12回臨時時代議員会／第13回定時代議員会 |
| ■ 地区学校歯科医会からのメッセージ 6～7
武蔵村山市学校歯科医会／昭島市学校歯科医会 | ■ 令和元年度 各種大会・研修会日程 11 |
| ■ 本会ホームページのご案内 8 | ■ 令和元年度 ブロック別学校歯科医研修会日程 12 |
| ■ こんなことが「学校歯科医執務記録」になります 8 | ■ 会務報告・訃報 12 |





ご挨拶

公益社団法人 東京都学校歯科医会

会 長 末 高 英 世

平成31年4月30日、木々の新緑が輝き、心地よい風が感じられる中、天皇陛下が御退位され、翌5月1日に皇太子殿下が御即位されて、新たな「令和」の時代が始まりました。このような記念すべきタイミングに立ち会えたことに大変、感慨深く思っております。

東京都学校歯科医会の先生方並びに学校歯科保健にご尽力いただいている関係者の皆様には、日頃より本会にご理解とご協力を賜りまして衷心より厚く御礼申し上げます。

さて本会は、平成31年4月1日に公益認定を受け、一般社団法人東京都学校歯科医会から公益社団法人東京都学校歯科医会へと移行いたしました。私自身、身の引き締まる思いであり、今まで以上に公益性の高い事業を推進し、多くの都民の皆様に愛される学校歯科医会となれるよう頑張っていきたいと思っております。

今年度は、役員の改選期であり、令和元年5月30日の定時総会終了時より新執行部となりました。私は再度、会長職に就くことになり、2期目がスタートいたしました。新執行部の理事者に関しましては、継続性の重視や公益法人へと移行したことなどに鑑み、この経緯や内容を十分に理解している前期の理事に引き続きお願いすることといたしました。令和元年度もそれぞれ担当する理事者が、さぞかし期待に沿った実績を挙げてもらえることを確信しております。

本会の事業には、さまざまな取り組みがある中で、公益法人となった関係で事業計画の枠組み等が今までと変更しておりますが、事業内容に関しましては、全く変わるものではございませんのでご安心いただきたく存じます。

学術研究委員会に関しましては、昨年度、「にっの科学 ～知っておきたい口臭のABC～」の冊子を発刊しましたところ大変好評を博しており、今年度から2年間にわたってブロック別研修会（6地区）において、川口陽子教授（東京医科歯科大学）よりご講演を賜る予定になっております。また、新たに今年度からの学術研究委員会には、和泉雄一東京医科歯科大学名誉教授を招聘いたしますので、2年後の成果が今から待ち遠しくなります。

このような事業の成果一つ一つは、全て児童生徒の健康増進へと還元されることになります。研修会が学校歯科医の学びの場であったり、養護教諭等の学びの場であったりと、そこから得られた知識を、今度は直接、児童生徒の学びの場で展開し、子供たちが「生きる力をはぐくむ」ことへと、つなげて行くことになります。しかし、課題も山積しています。例えばDMFT歯数に関しては、区市町村に大きな格差が現実として存在し、少しでもその是正に努める必要性を感じております。これらの解決に向け、引き続き東京都教育庁をはじめ、学校関係者の皆様から多くのアドバイスを頂戴しながら的確な事業を推進して行かなければならないと考えております。

2期目の執行部として、これからの2年間、気持ちを新たに組み立てて行く所存ですので、皆様方には引き続きご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

令和元・2年度 役員職務分掌



総括

すえ なか ひでよ
末高 英世
(会長)



副総括・学術

すず き ひろし
鈴木 博
(副会長)



副総括・事業

ながぬま よし み
長沼 善美
(副会長)



専務

さわ だ しゅうじ
澤田 章司
(専務理事)



総務(チーフ・専務補佐)

わた なべ あつる
渡邊 実
(理事)



会計

や もと おさむ
箭本 治
(理事)



広報

たかはし ひろふみ
高橋 裕幸
(理事)



事業(チーフ)

さか い かつのり
酒井 克典
(理事)



事業

たかはし ふみ お
高橋 文夫
(理事)



事業

しみず こういち
清水 浩一
(理事)



事業

にしむら けん
西村 健
(理事)



学術(チーフ)

やまむろ なお こ
山室 直子
(理事)



学術

すず き あいこ
鈴木あい子
(理事)



学術

やまぎし やすし
山崎 靖
(理事)



学術

こ もり ゆきみち
小森 幸道
(理事)



監査

いしかわ ふみかず
石川 文一
(監事)



監査

さかもと まり こ
坂本真理子
(監事)

副会長として

副会長 鈴木 博



この度、代議員会ならびにその後の理事会を経て副会長に再任されました。どうぞよろしくお願いいたします。

「流石に2期目となると、もう少し特徴を出さなければ」と心持ち気負っていましたが「普段通りで結構です」という末高英世会長の大きな気持ちに支えられて、日々の会務を一步一步確実にやっていくことを改めて目標に掲げたいと思います。

そこで、勉強嫌いの自分でも、パラパラと目を通す気になったり、このネタはいつか使えるかもしれないから本棚の隅にとっておこうと思うような冊子を作り、会員の先生方にお渡しできればよいなあと考えています（「にのいの科学－知っておきたい口臭のABC－」はいかがでしたでしょうか？）。

また「ちょうど今聞いてみたいと思っていた」とか「今まで疑問も持たずボーっと生きてきた

が、実のところはどうなんだろう」という話題を取り上げた講演会・研修会も企画したいとも考えています。

先生のお手元に毎月送られてくる沢山の情報誌から都学歯の冊子を選んで、置いておくスペースを空けて頂くことが一歩。お忙しい先生方に、講演会・研修会まで足を運んで頂くことが一歩。そして、一番の予算をかけている研究大会にご参加いただくことがもう一歩です。

ご承知のように、今年度から公益の法人格をいただいた当会です。今後どのようなふるまいをしていくのが問われる期でもあります。

私たちの活動が会員の先生のお役に立っているのかは、こちらから推し量れるものではありません。できるだけフィードバックを拾い、会員を通じて児童・生徒に寄り添い、一歩ずつ先に進むことを肝に銘じながら、新しい期に踏み出したいと思います。（^÷^）

「にのいの科学－知っておきたい口臭のABC－」 誤植修正のお願い

平成31年度に配布させていただきました「にのいの科学－知っておきたい口臭のABC－」の13ページのコラムで、発売元から原材料名に誤りがあるのご指摘がありました。陳謝するとともに以下のように修正させていただきます。

④ デンタルおやつ（プロデン デンタルバイツ、株式会社ライトハウス）

デンタルおやつをご紹介します。犬用と猫用があり、毎日噛むことで、歯垢を軽減し、歯石の沈着や口臭が抑えられるそうです。

主原料は天然の海藻（**アスコフィラムノドサム**）を使用しています。

公益法人における本会事業

副会長 長沼善美



令和元年5月30日に行われた代議員会にて、理事として選任いただき、末高会長下に再び副会長を拝命しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご承知のことと思いますが、昨年度、東京都学校歯科医会は創立70周年と法人化40周年を迎えて、平成31年2月には記念式典を開催して、4月1日に公益社団法人の認定をうけ公益社団法人に移行いたしました。これも東京都教育委員会、学校保健関係団体や地区参事の先生方はじめ、学校歯科医会の会員方のご理解の賜物と感謝申し上げます。

思えば、平成18年の6月2日に公益法人制度改革関連法が公布され、平成20年4月11日に「公益認定等に関する運用について（公益認定ガイドライン）」が内閣府より出されました。社団法人であった本会も平成20年から特例民法法人となり、平成24年までに公益か一般かで多くの議論がなされたことを思い出します。本会の公益事業とは何か、ガバナンスはどうか、公益目的財産と遊休財産をどうするかなどを理事会や総会においてご協議いただきました。その結果、東京都学校歯科医会は平成24年4月から実質公益型一般社団法人に移行し、公益法人を目指すという選択をしました。そして、今回も公益法人移行に際して、理事会や打合せ会を開催し、多くの方のご意見やご指導をいただきながら、なんとか公益社団法人へ移行することが出来ました。

各地区の多くの歯科医師会はすでに公益社団法人として運営がなされていますので、お分かりでしょうが、公益法人のメリットはその事業の独占使用であり、冠に「公益」と謳える敬称であり、社会的信用が得られ、事業遂行もスムーズにいくということです。また実質的な利益である税制上の優遇があり、公益法人そのものと法人に対する寄附を行う個人及び法人に関して所得課税、所得税、法人税、相続税及び地方税で必要な措置がとられるようになっていきます。

しかし、会費制の社団法人には現実にはあまりメリットを感じないのではないのでしょうか。

公益社団法人の会員である以上、会員も少し意

識改革をする必要があるのです。会費を支払っていることが公益事業に貢献しているということを意識して、会費すべてに対する見返りを期待しないこと、理事会に対しても責任が重くなり、透明性と説明責任の元となる情報公開が不可欠となる等、事業報告はもちろん決算においても公益性が担保されているかしっかりと公開することになります。

公益目的事業の実施について今一度確認しておくと、

- ① 公益目的事業の収入における収支相償の原則
- ② 公益目的事業費率が50%以上の原則

この2点が原則であります。

東京都学校歯科医会の各事業において、予算的に一番大きな部分を占めているものとして東京都学校歯科保健研究大会があげられます。毎年1,000名以上の会員や学校関係者が参加し盛大に行われ、今年54回を迎えますが、もっとPTAや学校関係者が参加したくなるような楽しい企画は出来ないだろうか毎回頭を悩ましております。その研究大会においても表彰式が行われております作文や図画ポスター作品募集も大きな事業であります。毎年多くの地区から参加していただいておりますが、公益事業としてはもっと参加を増やしていく必要があると認識しております。今年度東京都学校歯科医会では、各学校に掲示できる募集ポスターを作成して配布いたしました。地区においてもご負担と思いますが、私立学校も含め、中学生や高校生の応募を増やしていくことに努めていただきたいと思います。

また、学校における歯科保健活動は、授業枠内の時間的にも制約があり、学校保健関係者（養護教諭）や学校長の理解と協力体制の確立が不可欠であります。少しでも日常での関係確立に努めることも学校歯科医の仕事の一つであると思います。また先日、文部科学省から大臣名で教育委員会に教職員の働き方改革を徹底するように通達が発せられ、各学校において新しい保健活動を展開していくことが、難しい時代になるのではないかと懸念されるところです。

地区学校歯科医会からのメッセージ

武蔵村山市学校歯科医会

参事 比留間修一

武蔵村山市は、東京都の多摩北部にある人口72,500人の町です。市内には緑も多く、市の北側には、かたくりの湯（温泉）や野山北公園があり市民の憩いの場になっています。

市内には、小学校が9校、中学校が5校あります。それぞれの小学校、中学校に武蔵村山市歯科医師会から歯科医が派遣されています。そして、保育園が13園、幼稚園が4園あり、こちらにも武蔵村山市歯科医師会から歯科医が園医として派遣されています。

毎年、保健所から発表される3歳児及び12歳児におけるう蝕罹患率は、圏内6市、多摩地区、東京都全体においても他市に比較して高い状況が続いていました。

武蔵村山市では、平成25年度から「むし歯ゼロプラン」を立ち上げ、この状況の打開を試みてきました。フッ化物洗口は小学校9校のうち8校、染め出し歯みがき指導は小学校9校中、8校が実施しています。中学校においては、フッ化物洗口は5校中1校、染め出し歯みがき指導を実施しているのも5校中1校となります。

そして、平成31年度から「新むし歯ゼロプラン」として、武蔵村山市第3次学齢期における歯の健康づくり推進プランが実施される予定です。そのプランの中で主だった事柄を紹介します。

①目標指標

- (1) 小学生及び中学生の未処置率の減少
- (2) 12歳児のDMF指数の減少、むし歯のない12歳児の割合の増加
- (3) 12歳児で歯肉に炎症を有する人の減少

② 取り組むべき施策

- (1) むし歯及び歯周疾患の予防対策の推進
 - (ア) 歯科保健指導（学校、歯科医師会）
 - (イ) フッ化物洗口事業（学校）
 - (ウ) 給食後の歯みがき（学校、教育委員会）



- (2) 児童、生徒及び保護者に対する歯科疾患に関する知識の啓発
 - (ア) 歯科講話（学校、歯科医師会）
 - (イ) 学校保健委員会の活用（学校、歯科医師会）
 - (ウ) 「歯の作文」事業（学校、歯科医師会）
 - (エ) 「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」への参加（学校、歯科医師会、教育委員会）
 - (オ) 食育に関する事業（学校、教育委員会）
 - (カ) リーフレットの配布（教育委員会）
 - (キ) 「保健だより」（学校）
- (3) 歯科健康診断後の効果的かつ継続的な事後措置の推進
 - (ア) 秋の歯科健康診断（学校、歯科医師会）
 - (イ) 就学援助（医療費）の周知（教育委員会）
 - (ウ) 未受診者に対する受診勧奨（学校、歯科医師会）

その中でも重点的に取り組む施策として、給食後の歯みがきの実施、フッ化物洗口事業、歯科保健指導（染め出し）によるブラッシング指導、未受診者に対する受診勧奨の4つをあげています。

「むし歯ゼロプラン」を立ち上げてから武蔵村山市の児童、及び生徒のむし歯罹患率は減少傾向にありますが、他市も減少させていますので、順位としては、まだ悪い方の位置にランクしているようです。今後も、武蔵村山市学校歯科医会は、教育委員会や学校など関係機関と連携して「むし歯のない子供たち」を増やすために歯科口腔衛生の啓蒙に努めていく所存です。

昭島市学校歯科医会

会長 村山恒夫

私達昭島市学校歯科医会が活動している昭島市は、日本列島がまだ大陸と陸続きだった頃、周辺は海浜で、多摩川の河口となっていたとされています。それは昭和36年市内で発見されたクジラの化石によって裏付けられています。この地は北側に広がる立川段丘から南の多摩川に向かってなだらかな傾斜が続き、豊かな湧水に恵まれていたため、先人が住んでおり、その暮らしは縄文時代の土器や住居跡からうかがえます。戦国時代には、多摩川の対岸に滝山城が築かれ、昭島市の中でもとりわけ拝島は城下町として繁栄しました。その後、江戸時代に日光東照宮が建設されると日光街道の要衝にあたる拝島を中心に宿場として栄えました。東照宮の警備を務めていた八王子の同心たちは、日光を行き来するためにこの街道を利用していました。江戸時代から明治時代初期にかけて昭島市には、郷地村、福島村等九ヶ村がありましたが、明治23年の市町村制により九ヶ村での組合村となりました。明治35年に拝島村が分離独立し、その後残り八ヶ村が合併し、昭和3年昭和村となりました。明治時代末期から製糸工場が相次いで操業し、大正時代には昭島市一体が桑園化するなど、蚕種の生産を中心に全国屈指の養蚕の村となりました。昭和に入ると、満州事変や、日中戦争勃発による日本の戦時体制強化の中で、立川飛行場に近かったため、航空機を中心とする軍需工場と陸軍施設が建設されました。このため人口も急増し、昭和16年に昭和町となりました。戦後、東京の復興に伴い、昭島市でも新たなまちづくりが進み、昭和29年に人口36,482人の昭島市が誕生しました。市制施行後は、工場誘致による産業復興と共に、都心通勤圏に位置することから、団地の建設が増え、昭和62年に人口が10万人を超えました。最近では、立川市、昭島市にまたがる戦後の米軍基地跡地に広大な国営昭和記念公園や、国の種々な施設が移設され、大きな変貌をとげています。

昭島市歯科医師会の歴史をたどると、大正15年東京府歯科医師会北多摩支部が誕生し、混乱の続く時代だった昭和23年社団法人東京都北多摩歯科医師会が設立されました。昭島市での歯科医師の歴史は比較的新しく、昭和15年にこの地に開業された先生方が草分けであるといわれています。昭



島市制が施行された翌年の昭和30年昭島市歯科医師会が誕生しました。そして昭和56年この地域の歯科医師会を束ねていた社団法人東京都北多摩歯科医師会が自治体単位に解散し、昭島部会だった本会は独立し、東京都歯科医師会直結の東京都昭島市歯科医師会となりました。その後、東京都歯科医師会の公益社団化に伴い、一般社団法人東京都昭島市歯科医師会として法人化され運営されてきています。昭島市学校歯科医会とは、当初は学校歯科医に任命された先生が手を取り合って各種行事への対応がなされていましたが昭和46年に昭島市学校歯科医会が設立され、歯科医師会とは別組織の団体として運営・活動がなされるようになりました。昭和58年には会則が制定され、以来、児童生徒の心身の健康増進に寄与する活動を目指し継続してきています。市内には公立学校は、小学校13校、中学校6校、高校2校があります。全会員数は21名、名誉会員10名です。役員は6名で理事会は年に5～6回。年2回の総会を開催しています。平成9年からは昭島市学校保健会、教育委員会の共催を得て「学校歯科医が目指すむし菌のない学校」という主題のもと市内の学校歯科医が講師となり講演会を開催してきました。これがスタートとなり、以来今日まで毎年「歯の保健衛生講演会」として一般市民にも口腔衛生に関する最新の情報を提供して、健康寿命の延伸に繋がること願って継続開催してきています。又、昭島市教育委員会の教育長、学校教育部長、学務課長、係長、主事等の出席をいただき、毎年、連絡協議懇談会を開き、行政と学校歯科医の活動や認識に乖離が生じない様、緊密な関係を築いています。又各種の研修会や、都学歯の学校歯科保健研究大会にも会員の理解をいただき参加を得るようになりました。特に全国学校歯科保健研究大会には永年に亘って多数の会員が参加を続けています。今後は市内にある幼稚園、保育所、私立学校の嘱託歯科医の方々とも連携し、全ての児童の健康増進に貢献する昭島市学校歯科医会として発展していきたいと願っています。

本会ホームページのご案内

<http://www.tasd.or.jp/>



日頃より会員の先生方には、本会事業に対しご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。私達は、日々スマートフォンやタブレットを使用して新しい多くの情報を得ております。

東京都学校歯科医会のホームページはスマートフォンやタブレットにて検索できるように、画面サイズに捉われない最適な閲覧環境を提供すべきレスポンス web 対応となっています。スマートフォンを片手に東京都学校歯科医会のホームページを簡単に閲覧することができます。右上のQRコードをスマートフォンやタブレット等で読み取ると、入力をする必要なく、簡単にホームページにアクセスすることができます。また、会員の先生方のご意見ご要望等をお待ち申し上げております。



東京都学校歯科医会広報委員会

● こんなことが「学校歯科医執務記録」になります ●

学校歯科医執務記録は学校保健法施行規則で「学校歯科医が職務に従事したときはその職務を学校歯科医執務記録簿に記入し校長に提出する」と定められています。

学校に出向いての執務はもちろんですが、

- ①校外施設での指導
- ②学校における学校保健に関する各種会合
- ③（教育委員会主催等）指定された研修会、講演会への参加
- ④（教育委員会主催等）指定された大会、学会等への参加
- ⑤養護教諭や学級担任からの相談（電話、メール等）
- ⑥診療所に来訪した児童・生徒の保健指導

なども執務とみなされます。

※①～④は「出勤」、⑤、⑥は「協力」になります。

なお、執務記録の「8. 学校行事に参加」には入学式、卒業式、周年事業、運動会、学芸会、PTA、学校保健委員会等も含まれます。

個別のケースについては、所管の教育委員会にお問い合わせください。

学校保健に関する歯科医師会などの理事会・委員会への参加そのものは「出勤」になりません。来校して学校保健の内容を情報提供することが「出勤」になります。また、電話・ファクシミリ等で学校保健の内容を学校歯科医が直接に学校へ情報提供することは「協力」になります。執務記録に記載してください。

9 ページの執務記録をコピーしてお使い下さい。

認 印 欄	(学校長)
-------------	-------

年 月 日

学 校 歯 科 医 執 務 記 録

		執務者氏名	印
執務日時	月 日 () 午前・午後 全 日	執 務 場 所	学校, 診療所 (来訪電話等), 研修会, 大会, その他 ()
執 務 の 概 要			
項 目		記 事	
1 学校保健委員会等 (1) 学校保健計画立案 (2) その他			
2 定期健康診断			
3 就学時健康診断			
4 臨時健康診断			
5 健康相談及び健康指導 (1) 健康講話 (2) 相談 (3) 健康指導 (4) その他		特 記 事 項	
6 学校保健に関する研修会, 大会等			
7 授業参加			
8 学校行事に参加			
9 その他 (1) 救急時の処置 (2) フッ素塗布 (3) その他			

注意事項

- 1 学校歯科医は, 職務に従事したとき, その状況をこの執務記録に記入し, 校長に提出してください。
- 2 この執務記録は, 執務日ごとに記入してください。1日のうちで執務が数種にわたる時でも, 1枚にまとめて記入してください。
- 3 学校以外の場所で執務した時は, 出校時に記入してください。

清瀬市の学校歯科保健活動

清 瀬

清瀬市学校歯科部会は、学校歯科医会に入会しているメンバーにて構成しています。全員が清瀬市歯科医師会会員なので、歯科医師会理事会・例会時に部会を開催しています。

日本学校歯科医会・東京都学校歯科医会からの連絡事項の確認の他、“ポスターコンクール”応募作品から都学歯への推薦作品の選考を行い、応募してくれた児童生徒への感謝状と記念品贈呈を行っています。ポスターコンクールには熱心な美術教諭が赴任している学校にて2年連続で1位を受賞することができました。



た。

学校歯科医それぞれが講話や春の健康診断後の確認のための秋の健康診断を行い、口腔への関心・知識向上、そして各校にて健康教育など行っています。

(加藤 淳)

トピックス

第12回臨時代議員会

平成31年3月14日（木）歯科医師会館3階第1会議室で15時30分より、藤野垣男議長、鈴木 勝副議長のもと開催された（代議員68名中67名出席）。

鈴木 博副会長の開会に続き、点呼、末高英世会長挨拶、来賓挨拶（川本 強日学歯会長、山崎一男都歯会長、大越壽和都歯連盟会長）、議事録署名人選出（渋谷・長田博史代議員、調布・小田切秀男代議員）に続き、逝去会員への黙祷、会務報告、高橋裕幸理事による会計現況報告、箭本 治理事より定款改定の報告がなされ、ここまで承認された。

議事に入り、

第1号議案 平成31年度事業計画

第2号議案 平成31年度収支予算

第3号議案 次期会長候補者の選挙

第1号議案、第2号議案は、澤 正宏委員長による予算決算特別委員会報告の後、可決されました。

第3号議案は、和泉一清委員長による選挙管理委員会報告の後、可決された。

協議に入り、箭本理事が公益法人移行に伴う定款改定について資料をもとに説明された。

また、東村山の橋本健一代議員よりホームページについて、3号議案の文言について質問があり、葛飾の飯塚 務代議員より「にの科学」の冊子の価格について、質問があった。



続いて、江東の一ツ子延大予備代議員より公益法人移行に際しての地区の対応について、橋本代議員、麴町の山林 豊代議員より矯正治療の保険適用請願書について、華岡眞幸代議員より不登校児童について意見が出され協議された。

最後に長沼善美副会長より閉会の辞があり、図画ポスターの締め切りが早くなった事を付け加えられた。

第13回定時代議員会

令和元年5月30日（木）に歯科医師会館1階大会議室で15時から藤野坦男議長と鈴木 勝副議長のもと開催された（代議員68名中63名出席）。

鈴木 博副会長の開会に続き、点呼、末高英世会長挨拶、来賓挨拶（川本 強日学歯会長、山崎一男都歯会長、横川明弘都歯連盟常任理事）、議事録署名人選出（江東・小川伸子代議員、武蔵村山・土方靖夫代議員）に続き、逝去会員への黙祷、会務報告、高橋裕幸理事による会計現況報告、澤田章司専務理事より事業報告があった。

第1号議案 平成30年度収支決算

引き続き第1号議案の説明を高橋裕幸理事が行い、澤 正宏委員長による予算決算特別委員会報告、坂本眞理子監事より監査報告があり、第1号議案は可決された。

第2号議案 公益社団法人東京都学校歯科医会理事及び監事の選任

第2号議案の説明を澤田専務理事が行い、和泉一清委員長により選挙管理委員会報告があり、第2号議案



である東京都学校歯科医会の理事、監事は信任された。

第3号議案 一般社団法人日本学校歯科医会社員及びその補欠の選任

澤田専務理事より説明があり可決された。

第4号議案 公益社団法人東京都学校歯科医会理事及び監事の報酬等の額改定について

箭本 治理事より説明があり可決された。

協議にうつり、橋本健一代議員、草柳英二代議員より、ご意見をいただき、長沼善美副会長より閉会の辞があった。

令和元年度 各種大会・研修会日程

■ 第76回全国小学生歯みがき大会

令和元年6月1日（土）～6月10日（月）
DVD教材を使用し参加校が実施する

■ 平成31年度健康づくりフォーラム

令和元年7月25日（木） 東京都庁

■ 第70回関東甲信越静学校保健大会 〃 歯科職域部会・懇親会

令和元年8月2日（金） 新潟県 朱鷺メッセ
令和元年8月1日（木） アートホテル新潟駅前
※今年度は長岡花火大会のため、職域部会が1日、大会が2日の開催となっております。

■ 第83回全国学校歯科保健研究大会

令和元年10月17日（木）～18日（金）
山口県山口市 山口市民会館
懇親会：ホテルかめ福

■ 第69回全国学校保健・安全研究大会 〃 学校歯科医協議会

令和元年11月21日（木）～22日（金）
埼玉県さいたま市
大会：大宮ソニックシティ
協議会：パレスホテル大宮

■ 令和元年度学校保健（学校歯科医）研修会

令和元年12月12日（予定）
歯科医師会館 大会議室

■ 学校歯科医更新研修（都学歯主催）

令和元年12月12日（予定）
歯科医師会館 大会議室
※日学歯主催の「更新研修会」は、地区の参事経由でご案内をさせていただきます。

■ 第54回東京都学校歯科保健研究大会

令和2年2月27日（木） 文京シビック大ホール

■ 令和元年度学校歯科医基礎研修会（都学歯主催）はございません。

※日学歯主催の「基礎研修会」は、地区の参事経由でご案内をさせていただきます。

令和元年度 ブロック別学校歯科医研修会日程

	城南ブロック	城北ブロック	多摩ブロック
日時	令和元年9月12日(木) 18:30～20:30 集合 18:00～ 開会 18:30～	令和元年10月10日(木) 19:00～21:00 集合 18:45～ 開会 19:00～	令和元年11月7日(木) 18:30～20:30 集合 18:00～ 開会 18:30～
会場	荏原歯科医師会館 (品川区中延1-4-15) ・TEL 03-3783-1878 ・最寄駅 ○東急池上線 荏原中延駅	町屋文化センター (荒川区荒川7-20-1) ・TEL 03-3802-7111 ・最寄駅 ○地下鉄千代田線 町屋駅 ○京成線 町屋駅 ○都電荒川線 町屋駅	東久留米市庁舎 701会議室 (東久留米市本町3-3-1) ・TEL 042-470-7777 ・最寄駅 ○西武池袋線 東久留米駅
演題	「にょいの科学」 知っておきたい口臭のABC ～学校でのアンケート調査 からみえてきたこと～ ◇講師 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 教授 川口 陽子	「にょいの科学」 知っておきたい口臭のABC ～学校でのアンケート調査 からみえてきたこと～ ◇講師 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 教授 川口 陽子	「にょいの科学」 知っておきたい口臭のABC ～学校でのアンケート調査 からみえてきたこと～ ◇講師 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 教授 川口 陽子
当番地区 責任者	・荏原 辛島 清史 TEL 03-3781-2627	・荒川 横井 伸洋 TEL 03-3810-3640	・東久留米 鈴木 普久 TEL 042-421-8562

会 務 報 告

4/3(水) 会計閉鎖 会館
4/11(木) 三役会 会館
会計打合せ 会館
第1回事業部会 会館
4/18(木) 第1回理事会 会館
5/9(木) 第2回事業部会 会館
第1回予算決算特別委員会 会館
第1回広報委員会 会館
東京都学校歯科保健推進校(園)助成事業
選定校連絡会 会館
5/16(木) 監査会 会館
歯の作文第2次審査依頼
千代田区立和泉小学校
第2回理事会 会館
5/20(月) 次期役員選挙候補者届出締切
第1回選挙管理委員会 正・副委員長
資格審査会 会館

5/29(水) 2019年度・2020年度 生きる力をはぐくむ
歯・口の健康づくり推進事業実施校連絡会 会館
5/30(木) 第1回選挙管理委員会 会館
第13回定時代議員会 会館
第3回理事会(代議員会終了後) 会館

【訃報】

蒲 田 荻野 和彰(蒲田区立六郷中学校) H31. 2. 26逝去
上記の先生が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り
致します。(敬称略)